

府中市消防団 検索



第57号

発行 府中市消防団
編集 府中市消防団広報委員会
(府中市総務管理部防災危機管理課内)
TEL 042・335・4068

【消防団出動件数(令和4年1月から12月まで)】
災害件数(誤報を含む) 68件
災害出動延べ人数 3,120人
その他出動(訓練など)件数 131件
その他出動(訓練など)延べ人数 3,438人

府中市消防団出初式
令和5年1月7日(土)府中公園

新春恒例の伝統行事である府中市消防団出初式が、令和5年1月7日(土)、府中公園において挙行されました。

この出初式は、消防団の勇姿を市民に披露するとともに、団員にとっては、日頃からの訓練の成果を発揮し、ご臨席いただいた方々からの激励を受け、改めて地域の安全・安心のために力を尽くすことを固く誓う場でもあります。

式典に先立ち、22台のポンプ車等による市内パレード、また会場内では、睦消防組による伝統の木やり行進、梯子のりが行われ、観客を魅了する素晴らしい演技が披露されました。

海老澤副団長による半鐘を合図に式典が始まり、表彰では高野市長から消防団歴15年の団員の方々に感謝状が授与されました。

続いて、本間団長から、永年勤続表彰として消防団歴35年、25年、20年、15年、10年、5年の団員の方々に表彰状が授与されました。



▲一斉放水



▲睦消防組による梯子のり

また、消防団員として長年ご活躍いただき、令和4年3月末日をもって退団された方々に、総務省消防庁長官表彰が授与されました。

式典の終盤には、第1分団によるポンプ操法演技と第14分団、第15分団、第16分団、第17分団、第18分団による一斉放水が行われました。

歳末特別警戒

令和4年度歳末特別警戒を実施しました。この歳末特別警戒は、毎年12月28日〜30日の3日間で行い、警戒本部を府中市中中央防災センターに、分所を各防災センター(分団詰所)に設置し、消防ポンプ車にて警戒区域内に対する巡回広報活動を実施しております。

今回の警戒においては、市長、都議会議員及び府中消防署長が各防災センターへの巡察を2日間に分けて行い、各分団に対して激励の言葉をいただきました。



▶団本部による巡察の様子

広報委員長コラム



広報委員長 第8分団 団員 大清水 航

お世話になつております。昨年度に引き続き、府中市消防団の広報委員長を務めさせていただきます。

第8分団の清水と申します。日頃より、消防団活動にご理解・ご協力を賜り御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの終息が見えない状況ではありますが、感染症対策を行い、有事の際に備えた活動を続けております。

さて、今回の『消防団だより』は防災活動の内容はもちろん、活動の中での悩み事なども掲載させていただきました。私たち消防団をより身近に感じていただけましたら幸いです。今後本間団長の指揮の下、消防団活動に従事して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

広報委員会名簿

Table listing members of the Public Relations Committee, including names and positions like Chairman, Vice-Chairman, and various division chairs.

永年勤続表彰



【表彰を受けて】

令和5年府中市消防団出初式におきまして、多くのご来賓の皆様ご臨席の下、35年永年勤続表彰を賜りました。

昭和60年4月に入団し、年号も平成から令和へ、長い年月活動させていただきました。家族の理解や協力はもちろんですが、ご指導いただいた諸先輩方、多くの素晴らしい仲間、地域の皆様の支えがあったからこそと深く感謝しております。

様々な災害発生が危惧される中、消防団の役割は大きく、本間団長指揮の下に団員は一致団結し、日々の訓練に高い意識を持って取り組んでいます。消防団活動を通して培ってきた経験を生かし、素晴らしい消防団の伝統を守り、「愛する府中」のために微力ではありますが、貢献できるよう気持ちを引き締める所存です。

団本部 副団長 中田 和夫

35年勤続(1名)

団本部 副団長 中田 和夫

25年勤続(3名)

第10分団 分団長 野口 富嗣
第10分団 副分団長 赤池 威彦
第17分団 分団長 阿川 猛

15年勤続(14名)

第3分団 団員 池田 克則
第4分団 分団長 金井 敦史
第4分団 副分団長 小野 旬平
第9分団 副分団長 岡部 貴紀
第9分団 班長 西田 浩典

10年勤続(23名)

第1分団 班長 向井 博文
第2分団 班長 狩俣 堯慶
第2分団 班長 岳藤 洋史
第2分団 班長 田中 啓友
第3分団 班長 戸塚 仁
第3分団 班長 内野 祐太
第4分団 班長 酒井 敬司
第4分団 班長 田中 聖士

5年勤続(17名)

第1分団 団員 山田 清剛
第2分団 団員 秋葉 智和
第3分団 団員 村越 俊幸
第4分団 団員 竹内 直行
第4分団 団員 金井 健一
第4分団 団員 河内 健太郎

20年勤続(11名)

第5分団 副分団長 馬場 裕郎
第5分団 団員 星野 善隆
第6分団 分団長 中村 一記
第8分団 副分団長 馬場 善隆
第9分団 副分団長 大川 由晃
第12分団 副分団長 福原 守

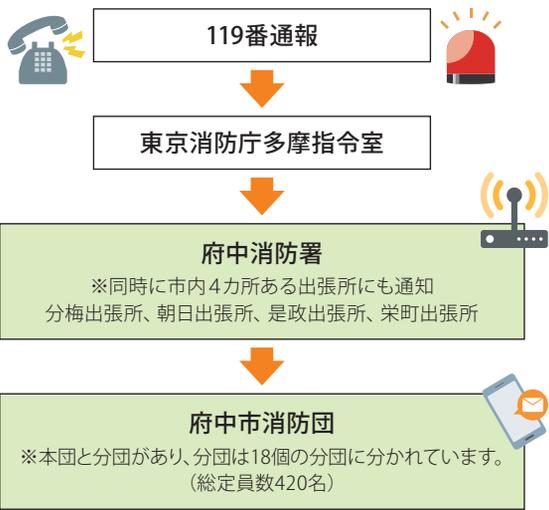
第9分団 班長 加藤 哲雄
第10分団 班長 伊藤 盛敏
第10分団 班長 佐野 博昭
第11分団 班長 香川 博昭
第12分団 班長 稲垣 淳

第4分団 団員 中野 秀一郎
第5分団 団員 関根 一成
第6分団 団員 新井 竜太
第7分団 団員 浦野 恵行
第8分団 団員 山田 勝太
第8分団 団員 秋山 賢太郎
第9分団 団員 大室 拓末
第10分団 団員 町田 元

第6分団 団員 石橋 翔太
第8分団 団員 山城 徹朗
第10分団 団員 影山 優介
第10分団 団員 林 松本
第11分団 団員 松本 高彰
第12分団 団員 内田 雪利

Table listing members of the Public Relations Committee, including names and positions like Chairman, Vice-Chairman, and various division chairs.

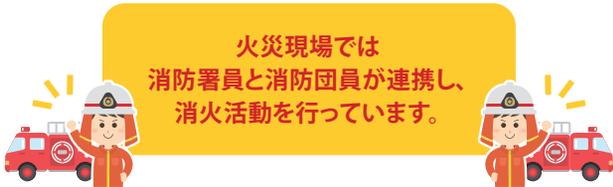
出動時の流れ — 火災出動 —



▲消防署にて放水指導。筒先の効果的な持ち方やホースの補助指導を消防署員に定期的に指導して貰っています。



▲普段、消防団員はそれぞれ本業の仕事をしています。しかし昼夜問わず出火報メールや連絡が来ると現場に駆け付けます。



消防署と消防団の違い

消防署員は消防署に24時間体制で勤務する専門の消防職員(消防吏員)です。

一方、消防団員は日常では会社員や自営業者などの他の仕事をしながら消火活動、救助活動、警戒活動、消防防災活動を行う非常勤の地方公務員です。

消防団の具体的な活動内容としては、消防署と一体となり災害活動(消火、救助、台風やゲリラ豪雨等による土砂災害警戒活動)を行っています。また、災害発生時以外で、各自の仕事が終わってから定期的に各分団に集まりポンプ車による町内の見回りや点検、特別警戒期間(春・秋・年末)における広報活動も行っています。

このほか、土日祝日を利用して町内の防災訓練指導、消防技術に係る研修・訓練を行っています。

消防団は専門の仕事ではありませんが、府中市内にて生活、仕事をしている為、平常時・非常時問わず地域に密着し、市民の安心安全を守る役割の一翼を担っています。

第3分団 団員 村越 俊幸

府中市操法審査会

『操法とは?』と、初めて聞いた方にお話しさせてもらうと、簡潔に言えば、水槽からポンプを使って吸い上げ、吸い上げた水を使って火に見立てた標的に当てることです。

ただ、この中に、規律や安全管理など、消防団活動の基礎中の基礎といえる火災現場での、動きが入っており、武道で言う「形」にあたるものです。

ポンプ操法は、消防ポンプ車を使い、5人の団員で行います。5人の内訳ですが、呼び名が、指揮者、1番員、2番員、3番員、4番員になります。

ちなみに、1番から4番までの番手を審査会でやったのは、第18分団の中では、自分をはじめでの様です。各番手をやった感想は、1番員は、放水の圧力にひたすら耐える。2番員と3番員は、とにかく、早くホースを展開し、放水の号令をかけるのがすべて。4番員は、正常にポンプ車から水が出る様に操作し、送水で圧力を高めすぎず低すぎずに注意。あとは、各番手すべてで、大声を出すように指導されたところでしょうか。

今回自分は、4番員をやらせていただきました。出来栄は、前半の送水まではよかったのですが、後半でもたついてしまい、若干、悔いの残る審査

会でした。

ポンプ操法は、番手以外にも、ホースの撤収など多くの人手が必要な訓練です。団員はもちろん、日々の訓練への参加にご理解ご協力をいただいた団員家族や関係者の皆様、本当にありがとうございました。

第18分団 団員 山浦 大和



団員紹介

私は第9分団で副分団長をしております大川と申します。

平成14年39歳11ヶ月で入団をいたしました。当時この年齢で入団することはとても珍しいと多くの方から言われました。サラリーマン生活をしていたため消防団と接する機会がなくこの年齢での入団となりました。

きっかけは、近所にあったお米屋さんの方が消防団の方でそこでお声かけをいただきました。

入団当初5年ぐらいいでやめようかと思っておりましたが、入団後様々な訓練や地域での活動に参加する中で消防団の重要性を感じて参りました。

それからもう少しやってみようと思ってきましたが、気がつけば20年の歳月が流れ、なんと今年の4月で還暦60歳になっているではありませんか! 地域での防災リーダーとして

の役割は当然ありますが、なんといつても活動が楽しいです。その理由として年齢は様々、職業も様々という仲間に囲まれて活動をして来たところであります。団員に共通しているところは府中が大好きなこと。このコロナ禍で人の繋がりが希薄になる中、消防団員の繋がりはとても強いものがあります。

あと何年できるかはわかりませんが、古稀分団長を目標に少しでも地域のお役に立てるよう健康に留意し頑張っていきたいと思っております。

第9分団 副分団長 大川 守



消防団員たちの「あるある」は、ちよっぴり愚痴っぽいけど...

● 消防団員活動の「あるある」を集めたら、親しみを持って読んでいただけるとは、事例を募集してみたところ、次のようなものが集まりました。

- 火災出動、各種訓練や定例の点検で、団員それぞれ仕事やプライベートがあるため、人数確保に苦労する。
- 地域の巡回や消火栓・消火器の点検など夜間の作業で、騒音が迷惑なのではと気になる。
- 休日の訓練や急な火災出動で、家族サービスがおろそかになる時もある。
- 友人に「どうせ飲んでるだけでしょ?」と言われた。
- 夏場の防火服が暑すぎ、毎度汚れる作業着の洗濯、若い世代の入団が少ない、などなど。

結果、消防団員活動の苦労や悩みについての愚痴っぽいものになってしまいましたが、こういった苦労や悩みを消防団員の間で分かち合いながら、協力して活動することで仲間意識も強くなり、それが消防団員活動の魅力という一面もあります。

また、地域の方々にご理解いただき、感謝や応援の言葉をいただくことも少なくありません。消防団員活動では、消防車の運転や放水など通常は経験できないことが経験できたり、実際に乗用車をつぶしての救助訓練など特殊な訓練に参加できる機会もあります。

防災についての知識が得られることをはじめ、交通安全講習の受講や応急手当普及員などの各種資格が取得できることで、地域の防災とともに家族を守る力も身に付けられるうえ、特別職の非常勤地方公務員として報酬や、災害・訓練の出場の手当支給などもあるので、魅力も多いことは間違いありません。

消防団に入団して、様々な職業や環境の団員たちと協力して活動する楽しさ、消防団員ならではの経験を共有してみませんか。

入団についてのお問合せは、  
府中市総務管理部 防災危機管理課まで

TEL 042-335-4068  
email bousai01@city.fuchu.tokyo.jp